「せ」で始まる語彙辞典（マイナー）

小説・ラノベの文章表現を
豊かにしよう

はじめに

こちらの語彙辞典は、
小説投稿サイト『小説家になろう』で公開している
【小説・ラノベの書き方講座｜ビジネス思考の創作論】の中の
『小説・ラノベの文章表現を豊かにする 50 音別の語彙辞典』を
ＰＤＦレポート形式に整理したものです。

多くの語を記憶することで、
あなたの文章表現力は
今よりも豊かなものとなります。

『１日５語ずつ』などのように目標を決めて、
今の自分が知らない語を暗記していきましょう。

なお、こちらの語彙辞典は
ノマドクリエイターのショウヘイが
趣味の一環で制作したものです。

商用で販売するつもりは一切ないので、
あなたの友人・知人の作家仲間に
自由に配布してくださって構いません。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

目次

はじめに 2

「せ」で始まる語彙辞典（マイナー） 4

おわりに 13

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

「せ」で始まる語彙辞典（マイナー）

せい - あん【成案】
具体的にでき上がっている考えまたは文案。「―を得る」

せい - い【勢威】
権勢と威力。「国の―を示す」

せい - うん【盛運】
物事が栄える方向に向かっていること。発展する運命。⇔衰運。

せい - えん【盛宴】
盛大な宴会。盛んな酒宴。「―を張る」

せい - えん【凄艶】
［形動］［文］［ナリ］
ぞっとするほどなまめかしいさま。

せい - かい【盛会】
盛大でにぎやかな会合。「祝賀会は―のうちに終わる」

せい - き【清輝】
月や日の清らかな光。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

せい - きょう【政況】
政治の状況。政治のありさま。「地方―」

せい - さん【星散】
［名］（スル）
星が大空に散らばっていること。転じて、物があちこちに散らばっていること。

せい - し【静思】
［名］（スル）
静かに思いをめぐらすこと。「自室でひとり―する」

せい - しき【清拭】
［名］（スル）
病人などのからだを、タオルなどでふいてきれいにすること。

せい - しゃ【清洒】
［形動］［文］［ナリ］
飾りけがなく、さっぱりしているさま。

せい - しん【生新】
［名・形動］
いきいきとして新しいこと。また、そのさま。「―な文化」

せい - しん【清新】
［名・形動］
新鮮でいきいきしていること。また、そのさま。「―の気」「―な作風」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

せい - せい【済済】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
多くて盛んなさま。さいさい。「―たる著名人が会する」「多士―」

せいせい - はってん【生生発展】
［名］（スル）
絶えず活動しながら発展すること。

せい - そ【精粗】
細かいことと、あらいこと。詳しいことと、大ざっぱなこと。「観察に―がある」

せい - とう【精到】
［名・形動］
詳しくて、よく行き届いていること。また、そのさま。「―な研究」

せい - び【清美】
［名・形動］
清らかで美しいこと。また、そのさま。

せい - めい【清明】
［名・形動］
清く明らかなこと。また、そのさま。「―の気」「―な秋月」

せい - れい【清冷】
清くつめたいこと。澄んでひややかなこと。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

せい - れん【清廉】
［名・形動］
心が清らかで私欲がないこと。また、そのさま。廉潔。「―の士」「―な人物」

せき - ばく【寂寞】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
① ひっそりとして寂しいさま。じゃくまく。
② 心が満たされずにもの寂しいさま。じゃくまく。

せき - ひん【赤貧】
きわめて貧しくて、何も持っていないこと。

せ - さい【世才】
世の中の事情に通じ、たくみに世渡りのできる才能。世故の才。「―にたけた人」

せ - じん【世塵】
世の中の煩わしい雑事。俗事。せいじん。「―を逃れる」

せっ - か【赤化】
［名］（スル）
《「赤」はプロレタリア革命の旗色》
共産主義思想や機構を認め、受け入れること。また、その思想に染まること。

せっ - ぱく【雪白】
［名・形動］
雪のように白いこと。まっ白であること。また、そのさま。「―の肌」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

せつ - げん【切言】
［名］（スル）
① 相手のために熱心に説くこと。また、その言葉。「思いとどまるように―する」
② きびしく言うこと。また、その言葉。

せつ - ぜん【截然】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
① 物事の区別がはっきりしているさま。「―と区切る」
② がけや岩壁などが切り立っているさま。「―たる山岳地帯」

せつ - ゆ【説諭】
［名］（スル）
悪い行いを改めるよう言い聞かせること。「非行少年を―する」

せん - おう【専横】
［名・形動］
好き勝手に振る舞うこと。また、そのさま。わがまま。「―な領主」

せん - かい【千悔】
何度もくやむこと。非常に後悔すること。「―万悔（ばんかい）」

せん - ぎ【詮議】
［名］（スル）
① 評議して明らかにすること。また、その評議。「会の方針について―する」
② 罪人を取り調べること。また、罪人を捜索すること。「厳しく―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

せん - くつ【洗掘】
［名］（スル）
流水や波が、川底・海底や堤防の表面などを削り取ること。

せん - けん【先賢】
昔の賢人。前賢。「―に学ぶ」

せん - こう【千行】
すじの多いこと。特に、いくすじとなく流れる涙にいう。「―の涙」

せん - こう【選鉱】
［名］（スル）
採掘した鉱石から不用鉱物を取り除き、鉱石の品位を高めること。「磁力を用いて―する」「―場」

せんし - ばんこう【千思万考】
［名］（スル）
あれこれと思いをめぐらすこと。また、その思いや考え。千思万慮。

せん - しん【浅深】
《古くは「せんじん」とも》
浅いことと深いこと。深浅。「―の度合い」

せん - せつ【僭窃】
［名］（スル）
身分を超えて、君主の位など、上位の者に属するものを奪い取ること。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

せん - せん【潺潺】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
浅い川などの水がさらさらと流れるさま。

せん - び【繊美】
［名・形動］
ほっそりとして美しいこと。また、そのさま。「―な腰の曲線」

せん - びょう【線描】
物の形を線だけで描くこと。せんがき。「―画」

せん - ぶ【宣撫】
［名］（スル）
占領地で、占領政策の目的・方法などを知らせて、人心を安定させること。「住民を―する」「―工作」

せん - ぶん【撰文】
［名］（スル）
碑文などの文章を作ること。また、その文章。「墓標の―」

せん - めい【宣明】
［名］（スル）
宣言して明らかにすること。「自国の立場を―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

せん - めい【闡明】
［名］（スル）
明瞭でなかった道理や意義を明らかにすること。「教義を―する」

せん - よう【宣揚】
［名］（スル）
広く世の中にはっきりと示すこと。「国威を―する」

千里（せんり）の野（の）に虎（とら）を放（はな）つ
危険なものを放置して、のちに災いを残すたとえ。

千里（せんり）も一里
恋しい人の所に行くときは、遠い道もそれほど苦にならない。「惚（ほ）れて通えば―、会わず戻ればまた千里」

せん - りょう【潜竜】
《池や淵（ふち）にひそんでいて、まだ天に昇らない竜の意》
しばらく帝位に就かず、それを避けている人。また、世に出るよい機会にまだめぐりあわない英雄。せんりゅう。

千慮（せんりょ）の一失（いっしつ）
《「史記」淮陰侯伝から》
どんな知者でも、多くの考えのうちには一つぐらいは誤りもあるということ。十分に考えていても、思いがけない失敗があること。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

せん - れい【繊麗】
［名・形動］
ほっそりとして美しいこと。また、そのさま。

せん - れい【鮮麗】
［名・形動］
あざやかできれいなこと。また、そのさま。

せん - ろく【選録】
［名］（スル）
選び出して記録すること。「史料として―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おわりに

【あいさつ】

語彙辞典を読んでくださり、ありがとうございました。

当レポートを制作したショウヘイと申します。

私は旅する作家という生き方を理想としています。日本や世界の各地を渡り歩くことで、作家としての引き出し（人生経験）を増やし、より良質な物語を世に送り出し続ける……そんな自由な作家生活です。

また、個人で稼ぐ能力を身に付けることで、会社に時間と場所を縛られない人生の実現も目指します。個人で安定した収入を得られれば、出版社の編集者の言いなりにならずに、自分が心から好きな物語を創作できるようにもなるからです。

私が運営しているブログ【ノマドクリエイターの執務室】では、旅する作家になるために役立つ情報を発信しています。もちろん、小説家・ラノベ作家として活躍するために役立つ創作論も公開しています。

時間と場所に縛られない、新しい作家の生き方に興味がありましたら、ぜひブログを覗いてみてください。

↓　↓　↓

■ ブログ：ノマドクリエイターの執務室（https://ノマドクリエイター.net）

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.